

## 第7回研究会（H23. 7. 2）以降の動向

- 7月2日 第7回竹島問題研究会を開催。
- 3日 松江市片江地区元漁民を対象とした聞き取り調査を実施。
- 5日 韓国国会行政安全委員会の委員長らが竹島を訪問。
- 5日 竹島領土権確立隠岐期成同盟会が与野党国会議員に対し要望活動を実施。
- 7日 知事が内閣官房副長官に個別要望。
- 8日 島根県議会が全会一致で「国際司法裁判所への提訴を政府に求める意見書」を可決。
- 13日 島根県建松会「総会」に講師派遣。
- 14日 大韓航空機の竹島領空侵犯に外務省が抗議、1ヶ月間の大韓航空機利用自粛を職員に指示。
- 15日 自民党領土に関する特命委員会が、8月1日から4日の日程で韓国に視察団を派遣することを発表。
- 24日 第5回竹島副教材リーフレット作成編集会議を開催。
- 27日 自民党国会議員の鬱陵島訪問について、韓国・李明博大統領が「身の安全を保証できない」として入国を不許可にするように指示。
- 31日 自民党国会議員の鬱陵島訪問に同行予定の下條正男教授が、韓国政府から出入国管理法に基づき入国を拒否される。
- 8月1日 韓国特認長官が竹島を訪問。
- 1日 3名の自民党国会議員が、韓国政府から出入国管理法に基づき入国を拒否される。
- 1日 東京臨海副都心の「船の科学館」で企画展「日本の海 -まもるべき島々-」が開催（～9/30）。首都圏で初めての竹島に関する展示会。
- 2日 知事が内閣官房副長官・外務事務次官に、韓国政府に対し毅然とした姿勢で抗議、申し入れを行うことを求める要請書を提出。
- 2日 島根県教育センターが初任者教員向けに竹島に関する研修を実施。
- 2日 政府が2011年版防衛白書を閣議決定。白書には「わが国固有の領土である竹島の問題は未解決」と表記。
- 3日 韓国釜山市南区議会が出雲市議会との交流中断を一方向的に通告。
- 3日 鬱陵島・独島への定期旅客船が日本人の乗船を無期限拒否。
- 5日 韓国慶尚北道が昨年より整備を進めてきた独島住民宿泊所の竣工式を実施。

- 10日 竹島の領有権問題について、政府が国際司法裁判所付託による解決を目指し、韓国政府への提起を検討していることが判明。
- 12日 韓国国会が独島領土守護特別対策委員会「全体会」の竹島開催を計画するが、天候悪化を理由に中止。
- 14日 韓国の与野党代表が竹島の訪問を計画するが、天候悪化を理由に中止。
- 15日 韓国・李明博大統領が日本の植民地支配からの開放記念式典で、「日本は正しい歴史を教える責任がある」と日韓関係に言及。
- 17日 第3回「高校における竹島学習」あり方検討会を開催。
- 31日 竹島領土権確立島根県議会議員連盟「総会」が開催。今後の取り組みについて協議。
- 9月2日 連合中国ブロック「竹島領土権確立を求める集い」に講師派遣。
- 3日 第6回竹島副教材リーフレット作成編集会議を開催。
- 8日 知事が内閣官房副長官に個別要望。また、「船の科学館」の企画展「日本の海 - まもるべき島々 - 」を視察。
- 11日 第8回竹島問題研究会を開催。
- 11日 第1回竹島問題を考える講座を開催

■ 今後の主な予定

- 9月17日 第7回竹島副教材リーフレット作成編集会議を開催。
- 10月4日 島根県自治研修所が新規採用職員向けに竹島に関する研修を実施。(～5日)
- 5日 第3回「高校における竹島学習」あり方検討会を開催。